

LINEオープンチャットに寄せられたご意見 と 市の考え

いただいたご意見を市で確認し、まとめた上で回答しています。

青字のキーワードをタップすると、リンク先で詳細を確認いただけます。

令和6年2月～3月（試行期間）			
No.	意見内容	まとめた内容	市の考え
1	田上にバスを増やしてください！	バスの運行本数を検討してほしい（通学に便利なバスの運行）	路線バスについては、利用者数が減少していることや運転手が足りないなどの理由から、厳しい状況にあると聞いていますが、いただいたご意見は、田上地域を運行している帝産湖南交通へお伝えします。
2	図書館をもっと利用しやすい場所に移転してください。特に駐車場を拡充して下さい。	図書館を利用しやすい場所に移転してほしい	図書館を移転するときには、大津市全体の図書館サービスを考え、「どこに、どのような図書館を作るのがよいか」を考えることが必要です。 さらに、図書館だけではなく、他の公共施設も含め、大津市全体で考えてどうするのがよいか決定していくため、いただいたご意見も、今後の参考にさせていただきます。
3	湖岸にマンションばかり許可しないで、公共性のあるものを計画してください。大津京辺りですが。	湖岸を公共性のある場所にしてほしい	大津市では、安心・安全・快適に住み続けられるコンパクトなまちづくりのため「 大津市都市計画マスタープラン 」に基づいてまちづくりを進めており、その中で大津京駅周辺は、自然や歴史、文化遺産を活かしながら、個性と魅力を集めた都心エリアとして位置付けています。 例えば公園と商業施設を併用した「ランチ大津京」など、生活環境の利便性や快適性を高める取組を進めています。 今後も本マスタープランに基づき、公共性があり多くの人が快適に過ごせるまちづくりに取り組みます。
4	夜、暗くなる道に街灯があれば安心します。	暗い道に街灯を設置してほしい	「街灯をつけてほしい」という声は、市民のみなさんからたくさん寄せられています。 その中で、新しく市街灯を設置するときは、「たくさんの人が通る場所か」、「近くに街灯がないか」などを確認するとともに設置できるかどうかを考えています。（大津市では現在、約 3 万基の市街灯を設置、管理していて、その電気代だけでも年間約1億円の経費が必要となっています。） 今回、具体的な場所を教えてもらえれば、その場所を確認します。 【大津市道路・河川管理課】 電話：077-528-2782 メール：otsu1804@city.otsu.lg.jp
5	コンビニ等が増えたら嬉しいです。近くにお菓子を買う店が駅近くくらいにしかなくて	学校周辺に学生が利用しそうなお店を増やしてほしい	大津市では、学生や若者を含む市民のみなさんの生活を豊かにすることが市の経済を活性化させることにつながると考えています。 具体的には、新しいお店の開業を支援したり、既にあるお店や商店街の魅力を高めるための補助制度を設けて、市民のみなさんが利用しなくなるようなお店を増やし、生活を豊かになるように取り組んでいます。 これからも、みなさんが楽しめるお店が増えるよう取組を続けていきます。
6	学校の周りに学生が行きそうな店をたくさん作ったいと思います		
7	京阪線に電光掲示板をつけて欲しい	京阪線を利用する際に、車内等でニュースなどの情報が見れるようにしてほしい	駅や電車の便利さを改善するためのご意見は、交通事業者へお伝えします。
8	子どもの遊び場を増やして	公園の遊具や遊び場を充実してほしい	大津市には、2 2 7か所の都市公園と6 3 0か所以上の児童遊園地、2 0か所以上のグラウンドや広場があります。みなさんの利用の目的に合わせてご活用ください。 大型遊具や広場についてご案内します。 ・清林パークや和邇公園、月輪大池公園には新しく大型遊具を設置しました。 ・公園のほかに、アスレチックやロープのぼりのできる比良げんき村などの施設もあります。 ・ボール遊びができるグラウンド（有料/無料）や広場もあります。 その他、公園に関する詳しいことについては、下記HPをご覧ください。 URL： https://otsukoen.org/parks/
9	全部の公園にブランコを		
10	皇子山公園の遊具をもっと充実させて欲しいです。子どもを遊ばせる大型遊具のある公園が大津には少なく、他の市に行っているのが現状です。よろしく願い致します。		
11	野球やサッカーなどの球技が出来る大きい公園をもう少し設置してほしいです。	図書館の自習スペースの確保を検討してほしい	図書館では市民のみなさんがいろいろな本を手にとって読めるように、いろいろな本を置いて、みなさんが快適に読書を楽しめる環境をつくるのが大切だと考えています。しかし、どうしても建物の広さに限界があり、読書をしていただくスペースが少ないため、本館では、別の部屋に「読書室」をつくって静かに読書を楽しみたい人や、調査研究作業など、学びたい人が利用できる場所を提供しています。 実際に、図書館の建物自体が狭く、自習スペースを新たに設けることは、難しいと考えています。
12	勉強する場所がある。例えば、最近は図書館で勉強できない(昔はもっとできたらいい)		
13	他の方も書いていますが、図書館に閲覧席だけでなく、勉強できる場所があったら嬉しいです		
14	大津市立図書館に市民皆が利用できる自習室を作って欲しいです。明日都浜大津でも自習ができる席がありますが混んでいることが多いので学生が自習できる場所は必須だと思います。	子ども・若者が年齢を問わず集える第 3 の居場所がほしい 図書館等、子ども・若者が放課後等に自習ができたり、みんなが気兼ねなく集まることができるスペース（WiFi、コンセント完備）、や子ども・若者が年齢を問わず集える場所がほしい。	大津市には、1 8 歳までのみなさんが利用できる「 児童館 」という施設が市内 6 か所にあります。高校生でも使える施設なので、ぜひ利用してみてください。 大津市では、高校生や大学生など若者が安心して過ごせる居場所をもつことが大切だと考えています。「行ってみようかな」と思えるような場所を増やすために、みなさんの意見を聴きながら取組を進めたいと思っています。
15	守山市立図書館のような、コンセントが使えてWiFiを完備した、多数の自習席を設けてほしい		
16	自習できるスペースが欲しいです、特に土日にご利用できると嬉しいです		
17	誰でも使える自習スペースがほしいです	相談したいときに、いつでも、同じ人に相談を聴いてもらえるよう、スクールカウンセラーを配置してほしい	今、大津市では、市立小中学校すべてに、スクールカウンセラーがいて、月に 2 日から 4 日くらい勤務しています。 こどもや保護者からの相談にきちんと対応するためには、スクールカウンセラーの存在はすごく大切です。相談したいと思っている人にきちんと活用してもらえるようにしていきたいと考えています。
18	テスト期間に一人で行きやすいような学生限定の個室の自習室が設置されると勉強が捗ったりストレスの軽減にもなると思います。		
19	若い人たちが午後の時間をあまり歳の差も気にせず一緒に過ごせる家とも学校とも別の場所があるといいなと思います		
20	スクールカウンセラーの常駐配置をお願いしたいです。(正規雇用で)		

LINEオープンチャットに寄せられたご意見 と 市の考え

いただいたご意見を市で確認し、まとめた上で回答しています。

青字のキーワードをタップすると、リンク先で詳細を確認いただけます。

令和6年2月～3月（試行期間）			
No.	意見内容	まとめた内容	市の考え
21	事情があって学校に来られない生徒や一般の授業に参加していても静かに受けていられない児童のために対応システムがあるといいと思います。特に小学校は教師の負担が大きい気がして、本人にも他の人にも悪影響が出ているように感じます。電話相談窓口などとは別に現場の即戦力になるようなものが好ましいです。	学校にいけない子ども等に対応するため、負担の大きい教師のサポートとなるような体制づくりを進めてほしい	今年、市立小中学校すべてに「校内ウイング」という場所を設けて、学校に行くということへの不安が少しでも和らぐような空間づくりを行っています。 また、学校に行けないこどもたちには、市内 3 か所（北部・中部・南部）にある大津市の教育支援ルーム「ウイング」を紹介しています。 さらに、教育支援センターの公認心理師と教育支援員がこどもたちの家などを訪れるという形の支援も行っています。
22	こども、若者の意見を伝える、広める場が提供され、議論される機会が設けられている必要があると思います	子ども・若者の意見を聴き、きちんと議論する場が必要ではないか	大津市では、こども・若者の健やかな成長のために必要な支援に取り組むための「 大津市子ども・若者支援計画 」を作っています。この計画は、今年度見直しをしていて、次の計画をどういう内容にするのか、計画に掲げる取組について、当事者であるこども・若者のみなさんの意見を聴きたいと思っています。 そのため、いろいろな方法で意見を聴き、一緒に考える場をつくっていく取組を進めています。
23	市内大学大学生食料支援事業を定期的に行ってほしい	大学生等への支援を継続して実施してほしい	「市内大学大学生食料支援事業」は、コロナ禍で経済的に大変な時期を過ごしていた大学生を支援するために実施していましたが、現在は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わり、活動の自粛は行われていないため、この事業を実施する予定はありません。 今は、大津市内に在住・在学の大学生に対する支援として、ハローワークや大学と連携し、大津市内での就職や就業を促進する取組をしています。 今後、大学生への支援が必要になるかもしれない時は、その時の状況にあった方法で支援するように考えていきます。
24	青少年活動センターのような施設があればと考えています。	大学生等若者が活動できる場所（活動拠点）が必要ではないか	大津市では、音楽や演劇の練習にも使えるスタジオがある スカイプラザ浜大津 （有料）など、みなさんが自主的な活動ができる場所を提供しています。「青少年活動センターのような施設」については、今のところ新しく建設する予定はありませんが、みなさんに活用いただける施設の情報について、お知らせの方法を工夫していきます。
25	市政が透明であること。この4年で一気に市政が閉ざされたものになったように感じます。閉鎖的な市政ではなくオープンにして、市政が身近になる必要があると思います。まず、市長さんがどのように動かれているのか知る機会を与えて欲しいです。この取り組みは市長さんが率いているものなのですか？	市の取組を知る機会を与えてほしい	大津市の取組をもっと身近に感じていただけるよう、市長自身が地域のイベントに出向き、みなさんの意見を聴くことに努めています。こうした交流の様子は、「 佐藤市長の夢まち通信 」で情報発信をしています。 今後も、市長と市民のみなさんがさまざまな場面で対話する機会を増やすようにしていきます。 そして、市の取組や市長の考えをもっとわかりやすく伝えられるよう、広報おおつ「佐藤市長の夢まち通信」やホームページ、SNSなどのほか、報道機関に対するプレスリリースや新聞・テレビ等のメディアも活用し、情報発信に力を入れていきます。
26	税金や保険料が、もっと子どもたちのために使われる町。有権者でも納税者でもないけど、未来を担う子どもたちへの投資がどんどんできる法整備、議会の姿勢、社会共通理解が必要かと。	次代を担う子どもたちへの投資、支援ができる社会づくり	大津市でも 総合計画 にある「夢があふれるまち大津」を実現するため、「子育て支援プロジェクト」や「学びの環境づくりプロジェクト」を重点項目として掲げ、こども・若者や子育て家庭への支援を大切に考えています。 毎年の予算をどう使うのかについては、大津市としてやらなければいけないこと、市民のみなさんが必要と思っていることを考えて使い方を決定していて、ご意見にありました「高校生までの医療費」についても、医療費助成制度として取り組んでいます。 次の世代を担うこどもたちの支援を進めるには、社会全体の意識も大切です。大津市の取組を発信しながら、みなさんの意見を聴いて取り組んでいきたいと思います。
27	高校生までの医療費の無料化、給食の無料化など子育て支援において大きな成果を得ている明石市を見習うべきです。		
28	少子高齢化対策！	少子高齢化対策としてどのような取組があるのか教えてほしい	少子高齢化の進行に対しては、子育て支援や学びの環境づくり、健康長寿などに重点的に取り組んでいるところです。 例えば、婚姻に伴う経済的負担の軽減を目的とした 大津市結婚新生活支援事業補助金 や「 しが結 」という結婚支援サービス出張登録会（滋賀県との共催）などの取組、妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない相談支援、 子どもの医療費助成 、また高齢者の健康づくりのための教室やレシピ開発などに取り組んでいます。 さまざまな取組を組み合わせ少子高齢化に対応していくことが必要だと考えています。
29	学生には図書券、それ以上の社会人にも商品券を配るのはいかがでしょう？参考書なのにも使えますし社会人は日々の生活費や好きな物にお金を使えると思います！大津市は？65歳以上の方に手続き不要で商品券を送ってるのでその若者バージョンもあると嬉しいです。学生は全員で社会人はある程度所得制限をもうけるか全員配ってくれると嬉しいです！（中略）やっぱり学生は全員で図書券などで、社会人の若者は所得制限をもうけ、商品券があると嬉しいです！希望は65歳以上と同じJCBがいいです！	若者への経済的支援を考えてほしい	特定の世帯に広く商品券等を配る事業は、例えば、物価が上がって大変な時期に特に大きく影響を受ける世帯へ交付するなど、支援する必要がある世帯に対し、交付したことの効果を十分に考えてから行います。 今後、社会情勢が変化し、若者への援助が必要と考えられる場合には、まずはみなさんが何を求めているかをきちんと把握し、対策を進めることが大切だと考えています。
30	大津市ではないのですが、滋賀県のホームページが見にくい。せめて大津市のホームページくらいデザインやフォント的に見やすくしてほしい。こちらでは関係ないのですがよく大津市と滋賀県のホームページから地元や制度の情報を収集してるので改善してもらえるとありがたいです。	滋賀県のホームページのデザインを見やすくしてほしい	いただいたご意見を滋賀県の広報課へお伝えしました。 滋賀県広報課より 滋賀県のホームページは、令和 8 年度のリニューアルに向けて準備中です。 掲載している情報を整理したり、デザイン面でも使いやすいホームページになるよう取り組んでいます。 ホームページで探している情報が見つからない場合は、滋賀県広報課までご連絡ください。 【滋賀県広報課】 電話：077-528-4710 メール：koho@pref.shiga.lg.jp